

図書教材新報

Books
teaching
materials
magazine

Vol.229

今月の特集

①教材活用シリーズ 学ぶことを楽しむ子どもたちであふれる未来を目指す (P. 4~5)

図書教材新報
Books teaching materials magazine

2024.5.25 Vol.229 (total 1858号)
1956年1月5日 創刊 毎月25日発行

情報教育の課題

一般社団法人日本図書教材協会会長

辻村 哲夫



A I技術の進化のスピードは留まるところを知らず、世界の情報化の勢いは年々加速している。こうした世界の動きもあろう、国は学校教育でのICTの活用促進に力を入れている。

2020年代を通して実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿を示した中教審答申(令和3年)も、令和9年度まで5年間の教育振興基本計画も同様の考え方に立っている。GIGAスクール構想も2期目に入った。

しかし、昨今情報化の進展がもたらす負の側面が顕著になってきた。機密の窃取、偽情報による人権侵害・金銭詐欺等悪質な事件が後を絶たない。児童生徒が巻き込まれる事例も少なくない。過度の情報機器依存による人間関係の希薄化、生活体験・運動の不足など児童生徒の心身の健康への悪影響も指摘される。

今、これまでの情報教育を振り返りその在り方を見直す時期が来たように思われる。情報教育が目指すのは「情報活用の実践力」

「情報の科学的理解」そして「情報社会に参画する態度」の育成である。

我が国の小・中学校教育に情報機器が導入され始めた頃の平成8年の中教審答申は、情報教育を進めるに当たっては、情報化の進展がもたらす「影の部分」の影響の重大性・その対策の必要性を強く指摘していた。

しかし、今日まで教育は前二者に力点が置かれ、「情報教育に参画する態度」の育成、情報社会で被害者にも加害者にもならない生き方、将来の情報社会を生きる社会人に不可欠な情報モラルに関する教育は十分になされてこなかったように思われる。

緊急対策として、今すぐにも学校と保護者に児童生徒を被害者にも加害者にもさせない指導を求めたい。同時に、近く始まる次期学習指導要領の改訂審議では、情報モラルに関する教育の在り方について将来の情報化の進展を見通した徹底した審議を望んでおきたい。

全都道府県協会に総会開催準備を要請

一般社団法人全国図書教材協議会(細谷美明会長)では、各都道府県協会に総会の開催準備を進める依頼文書を4月25日付のメールで案内した。

例年通り、担当出版社は各協会からの要請に応じて出席するため、文書では、出版社の出席要請の有無を早めに決めて連絡することや総会後速やかに経過を報告することを依頼し、それぞれ記入するための所定用紙を添付している。

また、新学期前に各ブロックに対して、全国協事業の進捗状況やブロック小・中学部会議での取り組みをまとめた文書を送付し、5〜6月に開かれるブロック会議で報告、検討してもらうよう要請した。

4月24日

小学校編集部長会を開催

小学校編集部長会(幹事長・山口直人教育同

協会ホームページ著作権解説を更新

協会ホームページでは、教材の複製・公衆送信や授業目的公衆送信補償金制度との関係など、学校用教材の著作権についての解説とFAQを掲載しています。このたび、最新の情報に対応した内容に更新するとともに、FAQの事例を充実させました。

人社取締役)では、第9回部長会を「協会会議室」で開いた。

会議では、教著協との協議、共同許諾申請、学校教材調査会事業、教材の複製や公衆送信に関する問い合わせへの対応、ICT化における教材の在り方、教材の複製や公衆送信に関する問い合わせへの対応、広報活動、校務支援システムなどへの対応等について状況確認と検討を行った。

4月25日

著作権勉強会を開催

教材作成に関する著作権について、具体的な事例をもとに検討する著作権勉強会を、前田哲男顧問弁護士を招いて編集部長会を中心に開催した。

各社から提供のあった具体的な事例を題材に、過去の勉強会で取り上げた題材なども振り返りながら、著作権の考え方や注意すべき点などについて共通理解を深めた。

5月7日

全拠出金、小学校3学期分

298万円を40協会へ還元送金
全図協では、協会育成強化費(拠出金)の小

ネットの問題は、
心の問題

学校から保護者へ伝える
スマホ・タブレットと
健康的につき合える
子どもの育て方

著/松島恒志
A5判/144ページ/定価2,200円(税込)

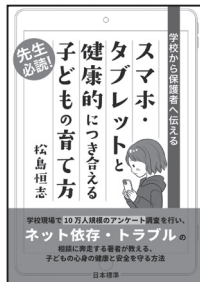
●子どもの健康と安全を守るために、学校と保護者がともに前向きに向き合うための方法を、具体的な対応例で紹介。

この春 注目の新刊!

これが話題の
「学びの地図」

こども 学習指導要領

監修/石井英真
編/こども学習指導要領編集委員会
A5判/228ページ/定価2,200円(税込)
●こどもが読めるように「総ルビ」にし、やさしく解説。
●教育に関心の高い保護者、小学校の先生方、教職をめざす大学生にもおすすめ!



すべての子どもに学力を
日本標準 書籍企画事業室 埼玉県狭山市祇園3-20ピラ祇園2F TEL:04-2935-4671 <https://nipponhyojun.bookstores.jp>

2023年度 拠出金一覧表 (小学校3学期)

(円)

協会名	拠出金額	協会名	拠出金額
北海道	6,695	福井	26,168
青森	8,746	京都	61,145
岩手	57,104	奈良	34,319
秋田	20,949	大阪	88,127
山形	10,112	和歌山	52,537
宮城	8,009	兵庫	128,774
福島	75,197	広島	115,025
茨城	149,729	鳥取	29,268
栃木	67,674	島根	35,196
群馬	53,653	山口	86,092
埼玉	458,105	徳島	28,579
千葉	34,151	愛媛	16,583
東京	485,260	高知	26,584
山梨	6,756	福岡	162,243
静岡	42,260	佐賀	14,016
三重	113,967	長崎	79,865
長野	61,358	熊本	64,153
新潟	31,478	大分	87,261
富山	26,496	宮崎	15,610
石川	40,084	鹿児島	70,865
		合計	2,980,193

5月8日
日 小学校営業部長会を開催
 小学校営業部長会（幹事長・廣木真人教育
 同人社営業本部販売グループチーフマネー
 ジャー）では、第5回部長会を「協会会議室」
 で開いた。

学校3学期分298万0、193円を関係協会
 へ還元送金した（左表参照）。
 これで2023年度の拠出金事業は終了し
 た。年間では1、467万1、568円（前年
 比4・08%減）、中学校が合計522万6、9
 93円（前年比2・62%減）、総計で1、98
 9万8、561円（前年比3・7%減）となつた。

当日は新学
 期販売の情勢
 分析を行い、
 児童数減によ
 る市場の縮小
 や自治体採択
 デジタル教材
 の影響があつ
 たとの報告が
 あつた。また、
 各地の市場の
 動向や物流の
 2024年問題の影響、見本の簡素化等につい
 て情報交換した。



小学校営業部長会

紙とデジタルをつなげるのは光文だけ。

光文書院のデジタルドリル

ドリルプラネット

国・算

自動採点・自動集計！
きめ細かい
フィードバック機能

対象教材とセット購入で

50円 / 学期 1年3回50回/年

※単品価格は1,800円（年間）です。
 ※1IDで国語と算数のどちらも学習できます。
 ※対象教材はドリルプラネット特設サイトを
 ご確認ください。

特設サイト

まずはお試し！
体験版あります！

光文書院 ドリルプラネット

光文書院のデジタル形成プリント

CBTタワー

自動採点・自動集計！
全問題に解説つき

国・算・理・社・英 + 生活科

紙テストのオプション品で

教科ごと10円 / 学期

上刊 10円 / 下刊 20円（年間30円）

英語テストのご購入で
英語のCBTタワーは無料!

※CBTタワーは単品では購入できません。
 ※ご購入いただいた紙テストと同じ教科のCBTタワーが
 ご利用いただけます。
 ※1・2年の国語または算数テストのオプション品として
 CBTタワーをご購入いただいた場合、
 生活科のCBTタワーを無料でご利用いただけます。

特設サイト

学がこと好きになる。

光文書院

〒102-0076 東京都千代田区五番町 14
 TEL. 03-3262-3271(代表)
 ホームページ <https://www.kobun.co.jp/>

※本広告に掲載の内容は2024年度のもので、
 ※本広告に掲載の価格はずべて税込です。
 ※本広告に掲載の仕様や画面は開発中のため、
 変更する場合があります。

教材活用シリーズ 第168回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などを紹介します。

学ぶことを楽しむ子どもたちで

あふれる未来を目指す

(株)光文書院
『ドリルプラネット』
『CBTタワー』



(株)光文書院
EdTech グループ

光文書院は、「学ぶことを楽しむ子どもたちであふれる未来を創造する」ことをビジョンに掲げ、全国の小学校を対象とした教材事業を展開しています。大切にする学力観は、営利目的の受験競争では決してありません。子どもたち一人ひとりの存在全体と向き合い、すべての子どもたちに学びの機会を提供、「子どもたちの心の底から学習意欲が湧き起こるような教材」を開発し、すべての子どもたちに届けることを目指しています。

1. 子どもたちが選び、自ら学ぶデジタルドリル『ドリルプラネット』

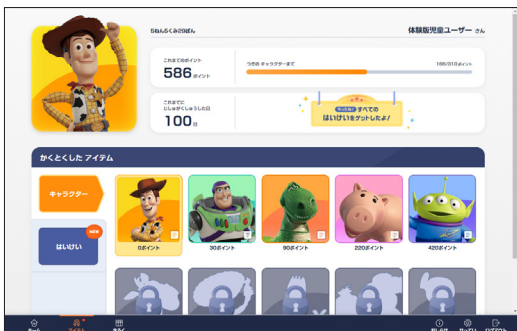
「子どもたちが、学ぶことを楽しみ、没頭し夢中になって取り組む力を育む」というビジョンを具現化すべく、「トイ・ストーリー」のキャラクターを採用したデジタルドリル『ドリルプラネット』の開発を2021年に着手し、2023年に全国の小学校へ向けた販売を開始しました。

これまで紙教材を長く発行してきた企業と

して、両方のよさを活かした新しい学びを創造したいという思いから、紙ドリルに加えデジタルドリルの開発にも力を入れ、「紙とデジタルをつなげる」新しい学びの実現に取り組んでいます。

その道のりのなかで、単なる知識に留めるのではなく、その知識を活用し、広げ、深い学びにつなげていく、子どもたちの学び段階を、長年に渡り研究し続けてきました。『ドリルプラネット』では、子どもたち自身が「きほん」「れんしゅう」「たしかめ」の3段階を選べるようになっており、効果をさらに高めるために、「トイ・ストーリー」のキャラクターを活かし、子どもたちのモチベーションをあげる機能を多数搭載しています。

特に人気なのが「ポイント獲得機能」で、学習に応じてもらえるポイントの仕掛けです。継続して学習した日数や正解にに応じてポイントが増え、そのポイントを使って、キャラクターや背景を獲得できます。自分だけの『ドリルプラネット』を作ることができて、子どもたちに非常に好評です。



▲ポイント獲得機能

© Disney/Pixar

2. 『ドリルプラネット』の活用事例

小学校での使い方の例をご紹介します。

◆朝のモジュール時間で算数の復習に

都内のM小学校では、学校全体で算数の基礎学力向上に取り組んでおり、45分間の授業に加え、毎朝15分のモジュール時間を算数の復習に充てています。

この朝のモジュールの時間で『ドリルプラネット』が大活躍。先生が課題を配信する「ミッション配信」機能を活用しています。その日までに指導が終わった単元の問題を予約配信しておくことで、時間になると子どもたちの端末に自動で問題が届きます。

モジュールの15分間、子どもたちは1問1答、自動採点の問題に各々の進度で取り組み、先生は遅れている子どものフォローをしたり、1時間目の授業の準備を進めたりして時間を有効活用しています。

◆新出漢字の学習で紙ドリルと一緒に

都内のD小学校では、新出漢字の学習で『ドリルプラネット』を活用しています。

まずは授業のはじめに、『ドリルプラネット』国語の「漢字辞典」を前の電子黒板に映し、書き順・成り立ち・用例などの基礎を教えます。その後、子どもたちは紙ドリルに習った漢字を繰り返し書き、先生が一人ずつ



▲紙での学び、デジタルでの学び

© Disney/Pixar

つ字形をチェックしながら丸付けをして回り、先生から丸をもらえた子どもから、ドリルプラネットで身についたかどうかを確かめて授業が終わります。

これまで早く終わった子どものために作っていたプリント作成の手間が省けた点や、紙ドリルではできなかった書き順チェックができる点について、先生方からご好評をいただいています。

3. 新登場！小単元毎に理解度を確認できるデジタル形成プリント『CBTタワー』

2024年度からは、習熟を目的としたドリルプラネットに加え、評価領域をカバーする新デジタル教材『CBTタワー』の販売を開始しました。

子どもたちの自主学習をメインにして、1問1答で進める『ドリルプラネット』に対し、『CBTタワー』は、デジタルならではの良問で、先生たちが子どもたちの学習理解度を見極め、その結果に基づき学習や授業を改善し、学びの可能性を広げるためのサポートをします。

『CBTタワー』は、先生たちの想いとともにより、子どもたちの心に寄り添うようデザインされています。子ども視点で問題を確かめながら、子ども自身でつまずきに気づき、ともに学

び、互いを励まし合って学んで欲しいという想いを込めて作成しています。

具体的には、アニメーションや写真、イラストを使用した解説を全問用意しており、光文書院オリジナル

キャラクターである「たしかめん」「つまずきくん」も登場して、子どもたちの学びに寄り添って気づきを与えるサポートをしています。

また、問題は、小単元毎に3〜10問で構成されており、1回5〜10分で実施可能。授業の進度に合わせて、スモールステップで理解度を測れるので、これまでプリント指導に忙しかった先生たちの時間にスペースを生みながら、テスト前や授業中の子どもたちの学びの空白時間を埋めていきます。

4. おわりに

光文書院のデジタル教材『ドリルプラネット』『CBTタワー』は誕生したばかりです。子どもたちが学びを通して、自らの物語を紡いでいけるように、これから先生や子どもたちと関わりながら、未来へ向けて進化を続けていきます。



▲CBTタワー画面

全図協 各種制度のご紹介

全図協では、販売店の経営や業務に関わる制度をご提供しています。
ここではそれぞれの制度の概要を簡単にご紹介します。

◆従業員が事故で入院してしまった…



生命共済制度

- ・従業員1人ずつ無審査で加入ができます
- ・死亡や障害、事故による入院時に保険金・給付金を支給します
- ・剰余金が生じた際は、配当金として返還します



3つ揃えば自社の経営や業務も安心！！

◆台車で校舎を傷つけてしまった… 搬入中に子どもにケガを負わせて しまった…

総合補償制度

- ・学校内で生じた対人・対物事故と、
集金時や事務所に保管していた現金
盗難に対する制度です
- ・図書教材に限らず、学校へ納入した
すべての商品に関わる事故を対象と
しています

◆従業員の福利厚生を充実させたい… 優秀な人材を確保したい…

福利厚生制度

- ・グルメや旅行、スポーツクラブなどさ
まざまなサービスを取り揃えています
- ・従業員だけではなく、ご家族も同条
件でご利用いただけます
- ・全図協特例割引適用で通常会費より
10%お得！

各種制度に関するお問い合わせ・お申し込みは、全図協事務局までお願いします。
なお、詳細は協会ホームページ (<http://www.nit.or.jp>) の会員ページ (パスワード: kagura6) に
パンフレットのデータを掲載していますので、そちらもご覧ください。

お問い合わせ・お申し込み先 ⇒ TEL 03-3267-1041 担当: 宍戸

編集後記

図書教材新報は昭和31年（1956年）1月に創刊しました。創刊号の見出しは「各界の注目をあびて日本図書教材直販協会の行動を開始す」というものでした。当時は国会において教科書や教材の内容と販売方法が適切なかどうかと問われており、質のよい教材作り、公正な販売の実現を目指して設立された日本図書教材直販協会の理念や活動を、広く発信していくために発刊されました。それから約70年、月3回のタブロイド判から、月刊誌として今に至ります。これからも図書教材新報は情報発信と広報宣伝の重要な媒体として、大胆な見直しを含めて、時代に合ったスタイルに進化させていきたいと考えています。

（竜）

全図協 販売管理システムのご案内

- ▶ 「図書教材ネット」と連動して、発注データを自動取り込み
- ▶ 納品書や請求書、売上明細などを一瞬で作成
- ▶ 複雑な売上・入金処理も簡単に管理

＜お問い合わせ先＞

一般社団法人全国図書教材協会
議会・事務局 (TEL 03-3267-1041) までお願いします。

業務の
効率化を
支援！